

第1回

スポーツを通じた地域振興推進委員会

東京オリンピック・パラリンピック鴨川市対策推進本部

合同会議 資料

平成30年度 オリパラ関連誘致推進状況

月日	場所	件名	内容
平成30年			
4月21日	総合運動施設	ブルーシリーズ in 鴨川	タイムトライアル
4月22日	総合運動施設	ブルーシリーズ in 鴨川	クリテリウム
4月22日	マルキポイント	SURF MEET KAMOGAWA 2018	サーフィン大会
6月3日	マルキポイント	鴨川シティカップ サーフィン大会	サーフィン大会
6月20日	東京ドーム	女子ソフトボール日米戦	激励訪問
7月2日	文化体育館	オリパラ対策推進本部会議	会議
7月15日	マルキポイント	亀田カップサーフィン大会 外房統一ビーチクリーンキャンペー	サーフィン大会
8月6日	ゼットエー市原臨海野球場	世界女子ソフトボール選手権大会 応援ツアー(日本対ベネズエラ)	日本代表応援ツアー
8月11日	ZOZOマリンスタジアム	世界女子ソフトボール選手権大会 (日本対アメリカ)	激励訪問
10月13・14日	マルキポイント	日本プロボディボードサーフィン大会	サーフィン大会
10月20日	マルキポイント	日本学生サーフィン選手権大会	サーフィン大会
11月30日～ 12月12日	欧州各国(スペイン・フランス・ドイツ・オランダ)	女子サッカー誘致のための各国関係 団体訪問・プレゼンテーション	誘致訪問
12月15・16日	文化体育館	日本ブラインドサッカー日本代表合宿	合宿
平成31年			
1月12・13日	陸上競技場	千葉県代表陸上競技チーム合宿	合宿
1月31日～ 2月3日	陸上競技場	陸上競技日本代表候補合宿	合宿
2月6日～9日	陸上競技場	車いす陸上競技日本代表選手等合宿	合宿
2月7～11日	亀田医療大学体育館ほか	車いすバスケットボール男子U-23 日 本代表合宿	合宿
3月30～31日	マルキポイント・鴨川グランドホテル	サーフィン 2018 強化指定選手合宿	合宿

○平成30年度 誘致活動等状況

○ ブルーシリーズ サイクルロードレース in 鴨川

期 日：平成30年4月21日（土） 8：30～16：15

平成30年4月22日（日） 8：45～17：30

場 所：鴨川市総合運動施設内（コース1周 1.3KM）

主 管：JBCF一般社団法人全日本実業団自転車競技連盟

協 力：鴨川市・千葉県自転車競技連盟・千葉県サイクリング協会・南房総サイクルツーリズム協会

参加者数：延べ396人

見学者数：延べ1,000人



○ 第16回世界女子ソフトボール選手権大会日本代表応援ツアー

期 日：平成30年8月6日（月） 19：00～21：00

場 所：ゼットエー市原臨海野球場

主 管：第16回世界女子ソフトボール選手権大会組織委員会

参加者数：30人

内容：過去2年、鴨川市総合運動施設で強化合宿を実施している、ソフトボール女子日本代表を応援するツアーを開催。予選リーグの対ベネズエラ戦を観戦した。初回に先制され、立ち上がりに苦しんだものの、鴨川からの熱い声援にも打線が応え、試合結果は7対2で日本が圧勝した。



○ ブラインドサッカー女子日本代表合宿

期 日：平成30年12月15日（土）～16日（日）

場 所：総合運動施設（文化体育館）

内 容：ブラインドサッカーとは視覚に障害を持った選手がプレーできるように考案された5人制のサッカー。この日本代表13名によるキャンプを受け入れた。



○ 陸上競技日本代表選手合宿

期 日：平成31年1月31日（木）～3日（日）

場 所：総合運動施設（陸上競技場）ほか

内 容：400mハードルの元オリンピック選手・山崎一彦氏が監督を務める順天堂大学陸上競技部の合宿。リオオリンピック出場の北川貴理選手、台湾ユニバーシアード金メダリストの北川翔選手、U-20世界選手権銀メダリストの犬塚渉選手ら日本のトップ選手8名が参加。



○ 車いす陸上競技日本代表選手合宿

期 日：平成31年2月6日（水）～9日（土）

場 所：総合運動施設（陸上競技場）

内 容：ロンドンパラリンピックマラソン出場の花岡伸和氏がコーチを務める、中山和美選手、樋口政幸選手ら車いす陸上日本トップ選手7人による合宿を実施した。



○車いすバスケットボール男子U-23日本代表合宿

期 日：平成31年2月7日(木)～11日(月・祝)

場 所：亀田医療大学体育館 他

内 容：昨年度に引き続き、東京2020大会、2021年の男子U-23世界選手権をめざす若手男子の日本代表選手団16名による強化合宿の受け入れを行った。コーチは千葉ホークスや車いすバスケットボール日本代表選手としてパラリンピック4大会で活躍した京谷和幸氏。



○2019サーフィン強化指定選手 強化合宿

期 日：平成31年3月30日(土)～31日(日)

場 所：マルキポイント及び鴨川グランドホテル

内 容：日本サーフィン連盟、日本プロサーフィン、国際サーフィン連盟合同により、世界選手権等の大舞台を見据えた日本代表強化指定選手75名による市内合宿と講習会が行われた。



調査・分析

① 鴨川市の受入条件を調査したところ、次の点が明らかになりました。

スポーツ施設： 総合運動施設は千葉ロッテマリーンズをはじめとする野球チームのキャンプ、ソフトボール日本代表のキャンプ、オルカ鴨川ＦＣのトレーニング・ホームゲーム、陸上競技大会等の利用実績があり、**施設の基本機能は申し分ない**。ただし、例えば、サッカー種目では陸上競技場の天然芝を常緑天然芝化する必要があるなど、**一部に整備が必要な部分もある**。

宿泊施設： 鴨川市は千葉県内でも随一の客室数を誇るが、海外チームの場合、バス・トイレ付の洋室（シングルまたはツイン）の客室は必須であり、**洋室を潤沢に有する宿泊施設が少ないのが難点である**。

食事面では、栄養士の指導の下、アスリートに対応した食事メニューを提供する必要がある、また他の利用客と交錯しないよう、食事空間を独立させることも求められる。この点においてハードルを高く感ずる宿泊施設も少なくない。その他、ミーティングルームやケアルーム、リラクゼーションスペースなどが必要となる。

一番のネックは東京オリンピックが７～８月の鴨川市の観光繁忙期に行われることで、宿泊施設の不足、あるいは料金の高騰が予想される。

医療機関： 国内でも有数の亀田総合病院の存在は大きく、スポーツ医学科も有し、**充実した高度な医療**を提供できることは、常にケガのリスクをとまなうアスリートにとって、**鴨川市の大きなアドバンテージ**である。

スポーツ情勢： 鴨川市では古くから野球やバスケットボール（ミニバス）、武道等が盛んに少年・市民スポーツとして行われてきたが、近年鴨川市を本拠地として活動する**女子サッカーチーム「オルカ鴨川ＦＣ」**が地域密着のクラブチームとして脚光を浴びており、東京オリンピック・パラリンピックをきっかけにより一層この盛り上がりを高めることはいわゆる“オリンピックのレガシー”という点から見ても重要な要素である。

② 2-①の調査結果を元に、誘致する種目・国（地域）を次の通り決めました。

種目 : 女子サッカー

国・地域 : ドイツ、オランダ、スペイン

選定理由 : 女子サッカーはまさに「オルカ鴨川 F C」の取り組む種目であり、女子サッカーの代表チームが鴨川市で事前キャンプを行うことで、相乗効果をもたらし、さらに大会の開催前・中・後を通じて地域の盛り上がりが期待される。

女子サッカーは「なでしこ J A P A N」もメダル獲得が期待されている種目であり、メダルを争うライバルチームの事前キャンプ地となることで、相当の注目も得られると期待される。

女子サッカーにおいてはドイツが長年トップを争う国であり、また、千葉県がドイツ・デュッセルドルフ市との関係を深めている中で、競技力、関係性の両面においてドイツは最適の国と言える。

第2候補としてオランダとスペインにもアプローチを試みる。この2カ国は近年ヨーロッパで急進しているチームであり、オランダは千葉県が今大会の事前キャンプ誘致においても力を入れている国である。スペインはオルカ鴨川 F C に所属した堂園彩乃選手が現在プレーしている国で、近年、なでしこリーグとも提携した国である。

以上を鑑み、ドイツ、オランダ、スペインの女子サッカー代表チームを誘致する。



写真 : 女子サッカードイツ代表

③ 選定種目・国（地域）に関する調査結果は以下の通りです。

女子サッカー／ドイツ、オランダ、スペイン

競技力： ドイツは長年世界の女子サッカー界のトップに君臨する強国であり、競技力は極めて高い。

オランダ、スペインは近年急進している国で共になでしこ J A P A N にも勝利し、毎年3月ポルトガルで開催されているアルガルベ杯で優勝しているほか、オランダは昨年度のヨーロッパ選手権でも優勝を果たしている。

本戦出場のルール・可能性：

東京五輪においてはヨーロッパの出場枠は3つである。

ヨーロッパ地区予選の場合、**2019年6～7月にフランスで行われる「FIFA女子ワールドカップ フランス 2019」**が地区予選を兼ねており、ここで**ヨーロッパ地区における上位3カ国**（ヨーロッパ地区は9カ国がW杯に参加）が東京五輪への出場を手にする。なお、候補国である、ドイツ、オランダ、スペインともにW杯に出場する。3カ国の中でドイツは実力的に東京五輪出場権を得る可能性は高い。オランダ、スペインは3枠に入れる実力は十分に持ち得ている。

競技団体： 各国にサッカー協会が組織されている。

関係者・エージェント：

美濃村 洋一（みのむら よういち）

ドイツ・デュッセルドルフ市在住で、日本サッカー協会国際委員を務める。

日本代表チームがヨーロッパ遠征をした際の調整・アテンドの経験を持ち、また、ヨーロッパで活躍する日本人選手、ドイツ国内をはじめヨーロッパ地域のサッカー関係者ともコネクションがある。現・ドイツ女子代表監督 マルティナ氏と親交がある。鴨川市が女子サッカー・ドイツ代表を事前キャンプに誘致したい旨は2年ほど前から理解いただいており、なにより日本人ということで意思疎通を十分にとれるという点大きい。

新田 博利（にった ひろとし）

浦和レッズの創設時に尽力した方で、現在、浦和レッズ後援会事務局長を務める。

浦和レッズは元々ドイツの強豪クラブチーム バイエルン・ミュンヘンと提携関係があり、その際、豊富な渡独経験をもつ。そのため、ドイツとのコネクションも強い。

平成29年2月にオルカ鴨川FCの北本・岡野両名が渡独した際、新田氏もアテンドしている。

美濃村氏を紹介くださったのも新田氏である。

Edward Rikkert de Koe (エドワード)

オランダのスポーツエージェント Jimpex 社代表。

オランダサッカー協会のアドバイザーを務め、強いコネクションをもつ。来日経験も豊富で、日本語も堪能である。

誘致活動

調査・分析をもとに、今年度具体的な誘致活動を展開しました。

平成 30 年 9 月 美濃村洋一氏と今年度のエージェント契約

美濃村氏は現地ドイツにて情報収集や関係者へのアプローチを展開した。

平成 30 年 9 月 幕張メッセにて、新田氏の媒介の下、エドワード氏と初めてミーティング

オランダ女子代表は東京五輪の予選大会を兼ねる平成 31 年開催の F I F A 女子ワールドカップ・フランス 2019 の欧州予選を戦っているとの情報を入手し、オランダサッカー協会は鴨川市の提案に興味をもつ可能性が十分にあるとの見解をもらう。一度現地を訪問して、直接プレゼンテーションの機会をもつべきとのアドバイスを受ける。

欧州予選については、U E F A のウェブサイトで現況・ルール等を確認した。

<https://www.uefa.com/womensworldcup/>

平成 30 年 11 月 千葉県環境生活部オリンピック・パラリンピック推進局 事前キャンプ・大会競技支援課（事前キャンプ班）を訪問し、同班が特に力を入れているオランダについてヒアリングをし、オランダ五輪委員会及びサッカー協会とのアポイント取りを依頼する。12 月にオランダサッカー協会でのアポイントが確保された。

平成 30 年 12 月 ヨーロッパに渡航し、**オランダサッカー協会を訪問。**

エドワード氏が通訳・アテンドを務め、新田氏とともに鴨川市への事前キャンプ誘致のプレゼンテーションを行う。エドワード氏からは 1 回目のプレゼンテーションとしてはたいへん感触が良く、オランダサッカー協会も強い興味を示しているとの評価をもらう。

ドイツ代表については、渡航時、マルティナ監督とミーティングをもつ予定であったが、急遽キャンセルとなり、後日美濃村氏がマルティナ監督にアプローチし、誘致の意思を伝えた。

スペインについては日本サッカー協会、なでしこリーグ事務局を通じて、アプローチしていたが、アポイントは取れず、本渡航でのミーティングは断念した。



写真：オランダサッカー協会でのプレゼンテーションのようす

平成 30 年 1 月～ ドイツ代表については美濃村氏、オランダ代表についてはエドワード氏の両氏が現地で引き続き情報収集、タイミングを見計らって関係者へのアプローチを継続している。

誘致課題： 誘致活動を通じて明らかになった、課題は次の通りである。

① 総合運動施設

- 各チームともに、本番と同様の環境でトレーニングを行いたいため、陸上競技場の芝生ピッチの**常緑天然芝への変更は必須**である。
- 東京オリンピックの女子サッカーのキックオフ時刻は、暑さ対策のため、いずれも夕方以降が予定されている。したがって、同じ時間帯に本番を想定した練習を行うこととなり、**練習場にはナイター照明の整備が求められる。**

人工芝のサッカーグラウンドは整備済だが、天然芝でのトレーニング、あるいはトレーニングマッチ（他国チーム等との練習試合）も重視されるため、**陸上競技場へのナイター照明の整備を検討する必要がある。**（常設は予算的・期間的に難しいので、仮設で対応）

② 宿泊施設

- **バス・トイレ付洋室が必須**であり、40～50人のチームが宿泊するには、ツイン利用でも25～30部屋程度の洋室を有する宿泊施設が必要となる。（シングル利用ともなれば50部屋程度が必要となる）
この条件を持ち得ている宿泊施設の選定が課題である。
- 総合運動施設にはトレーニング器具があるが、**宿泊施設にもトレーニング器具がほしい**（オランダサッカー協会の要望）

③ 選手団の渡航費・滞在費等の経費

- 選手団の渡航費・滞在費は原則的に先方負担となる。(事前キャンプの受け入れ自治体である東京都大田区、横浜市にヒアリングしたところ、やはり渡航費・滞在費の自治体・地域側の負担はないとの回答であった)
- 競技会場(首都圏)・空港と鴨川市の間の移動手段、鴨川市内の移動手段(総合運動施設-宿泊施設間)は鴨川市側での用意を検討する。
- 誘致活動における、事前に来日しての鴨川市の現地視察については、渡航費・滞在費を用意する必要がある。
- その他、必要に応じて、物的・経済的支援を行う。

【収入】

項目	予算額	決算額	比較	備考
鴨川市負担金	3,300,000	3,300,000	0	
地方創生推進事業鴨川市負担金	5,000,000	5,000,000	0	
雑入	0	18,500	18,500	ソフトボール世界選手権大会参加費
預金利息	0	32	32	
前年度繰越金	88,899	88,899	0	
合計	8,388,899	8,407,431	18,532	

【支出】

項目	予算額	決算額	比較	備考
1. 自転車ロードレース開催事業	650,000	799,332	149,332	※4月クリテリウム大会開催
消耗品費	50,000	5,574	▲ 44,426	立哨員用水等
印刷製本費	50,000	70,200	20,200	チラシ印刷費
賞賜品費	100,000	125,920	25,920	各カテゴリー賞
食料費	50,000	76,800	26,800	立歩哨員弁当
旅費	0	2,600	2,600	有料道路通行料等
役務費	50,000	120,688	70,688	S/Fトラス設置代、路面補修、振込手数料
使用料	0	2,000	2,000	駐車料金
借上料	200,000	216,000	16,000	安全マットリース
委託料	150,000	179,550	29,550	交通誘導員配置
2. サーフィン振興事業	50,000	51,023	1,023	
通信運搬費	0	1,023	1,023	おもてなしCHIBAプロジェクト種配送料
協賛金	50,000	50,000	0	シティカップ大会協賛金
3. 女子ソフトボール誘致事業	590,000	144,121	▲ 445,879	※2018・8月世界選手権
講師謝礼	30,000	0	▲ 30,000	
消耗品費	50,000	27,257	▲ 22,743	飲料等
食料費	200,000	0	▲ 200,000	
旅費	0	7,920	7,920	有料道路通行料、高速バス
役務費	10,000	29,284	19,284	入場料、振込手数料、保険料等
使用料	0	3,800	3,800	駐車料金
借上料	0	75,860	75,860	世界選手権応援ツアーバス借上げ
委託料	300,000	0	▲ 300,000	ケータリング
4. 車いすバスケットボール誘致事業	480,000	458,698	▲ 21,302	※2月全日本U-23代表キャンプ
消耗品費	50,000	38,126	▲ 11,874	クーラーボックス、タオル、紙コップ、灯油等
食料費	0	144,180	144,180	ケータリング
役務費	10,000	2,376	▲ 7,624	振込手数料
借上料	250,000	0	▲ 250,000	バス借上料
委託料	170,000	274,016	104,016	スロープ設置撤去、体育館清掃メンテナンス
5. 合宿等誘致事業	6,600,000	6,638,886	38,886	車いすバスケット・陸上競技等
謝礼	10,000	50,000	40,000	補助員謝礼等
消耗品費	30,000	112,452	82,452	諸用紙、紙コップ、飲料水等
食料費	0	53,192	53,192	ブラインドサッカー合宿の折弁当
修繕料	0	205,200	205,200	陸上競技場周回グレーチング設置
旅費	50,000	68,780	18,780	高速バス・有料道路通行料等
役務費	10,000	35,782	25,782	振込手数料、郵送料等
使用料	0	11,800	11,800	駐車料金
借上料	0	147,080	147,080	移動用バス・ワゴン車等借上料
負担金	0	20,800	20,800	JSTAセミナー参加費
キャンプ助成金(国内TOPチーム)	1,500,000	955,000	▲ 545,000	合宿助成金(プラスカ105+陸上50+200・車いす陸上300・車いすバスケット300)
キャンプ誘致委託料(国外TOPチーム)	5,000,000	4,978,800	▲ 21,200	状況調査・交渉・プレゼンテーション等
6. 予備費	18,899	0		
合計	8,388,899	8,092,060	▲ 296,839	

収入額 8,407,431 円
 支出額 8,092,060 円
 差 引 315,371 (次年度へ繰越)

監査報告

東京オリンピック・パラリンピック鴨川市対策推進本部の決算に対し、帳簿及び関係書類を照合、監査の結果、いずれも適正に処理されており、金額が適正であることを確認する。

平成31年 6月24日

東京オリンピック・パラリンピック鴨川市対策推進本部
 監 事

山下 洋介
 菅原 明善



令和元年度 一般社団法人ウェルネススポーツ鴨川 事業計画

1. スタッフ体制

専務理事・事務局長 1名、事務局員 1名、地域おこし協力隊 2名 (市役所担当2名)

2. 受託業務

- ① スポーツコミッション集客システム構築委託業務 約3,000万円
- ② 大会・合宿等誘致委託業務 約1,000万円

3. 事業ロードマップ

① 達成する2つのビジョン

- (1) 新産業と雇用の創出 = スポーツビジネスの確立・地域産業の振興
- (2) 健康で質の高い生活 = スポーツの日常化・スポーツを文化に

② 3大事業

- (1) イベント・キャンプ(大会・合宿)誘致・運営
- (2) 指定管理受託に係る諸条件の検討
- (3) スポーツ文化創造

③ 今年度事業計画

I：イベント・キャンプ(大会・合宿)誘致・運営【委託：大会・合宿】

- (1) 第37回NSA級別サーフィン選手権 4/19(金)～21(日)
 - ▶ 選手シャトルバス運行・アンケート調査等
- (2) 実業団クリテリウム(ブルーシリーズ) 8/24(土)～25(日)
 - ▶ 会場設営・運営の支援・ステージイベント・ブース出店
- (3) ブラインドサッカー女子日本代表 10/5(土)～6(日) ・ 12/21(土)～22(日)
 - ▶ パライベントの併催を検討中
- (4) 2020年東京五輪外国チームキャンプ誘致
 - ▶ 女子サッカー：ヨーロッパ、オセアニア等
- (5) スポーツ+農村文化合宿 8/5(月)～7(水)
 - ▶ 首都圏等の子どもに向けスポーツを通じた人間育成
 - ▶ 今後、鴨川との連携が生まれ、継続的な展開に拡大することを目指す
- (6) 全日本女子硬式クラブ野球選手権大会 10/12(土)～14(月・祝)

他種目についても継続対応有り

II：指定管理受託に係る諸条件の検討

- (1) 他地域の事例調査・研究 ▶ 市原市、掛川市 等
- (2) 現状調査：業務内容、利用者、利用状況、収支、管理コスト、スタッフ体制 等
- (3) JV企業選定、委託条件・利用料・仕様書検討・作成

- ▶ トレーニングルームの活用、多目的体育館含む総合運動施設全体の活用、平日稼働率向上（高齢者、母親世代）

Ⅲ：スポーツ文化創造【委託：集客システム】

(1) マリン・ビーチスポーツ … サーフィン、ビーチスポーツ

- i ビーチでのアクティビティ地域活動
- ii 夏季ビーチコート設置
- iii マリン・ビーチフェス開催

(2) サイクルツーリズム … アプリ、レンタサイクル

- i レンタサイクル・ネットワーク：利用体系、スポーツバイク・Eバイク整備、拠点整備
- ii ロゲイニングアプリの開発
- iii サイクルツアー・プログラム
- iv サイクルサミット：サイクル地域関係者の会議体
- v 鴨川市健康ポイントとの連携

(3) アーバンスポーツ（ニュースポーツ） … スケボー等

(4) A-Sports（農林業×スポーツ） … 草刈り等

- i 10/26(土) 旅行会社による企画「地球いきいきツアー」
- ii 11月 第2回草刈りサミット

(5) パラスポーツ

- i ブラインドサッカー女子日本代表にあわせたパラスポーツ啓発イベント
- ▶ ブラインドサッカー、ボッチャ、車いす陸上 等
- ▶ 健常者も楽しめるパラスポーツ（パラスポーツ→健常者スポーツのアプローチ）

(6) 市民・ライフスポーツ … スポーツ教室、みんなみの里

- i ウェル KAMO 教室（おとな向け健康教室）：みんなみの里、鴨川市文化体育館
- ii こども向けスポーツプログラム：みんなみの里

Ⅳ：その他

(1) プロモーション

- i 市内向けのプロモーション・ロゴ公募
- ii 体験プログラム体系化
- iii 企業・団体向けのパッケージ

(2) 人財育成

- i ライセンス・資格の取得

(3) 海岸周辺の活用 ※：観光課・鴨川観光プラットフォーム(株)との調整・連携

- i マルキポイント
- ii 市民会館周辺、夏季駐車場等

令和元年度 東京オリンピック・パラリンピック鴨川市対策推進本部予算(案)

【収入】

(単位:円)

項目	予算額	備考
鴨川市負担金	1,800,000	
前年度繰越金	315,371	
合計	2,115,371	

【支出】

項目	予算額	備考
1. 誘致に係る会議・打合等	260,000	
消耗品費	80,000	諸用紙等
旅費	50,000	高速バス・有料道路通行料等
役務費	20,000	振込手数料
使用料	30,000	駐車料金等
借上料	30,000	レンタカー等
負担金	50,000	JSTAセミナー参加費
2. 合宿等誘致事業	1,800,000	車いす陸上・ブラインドサッカー陸上等
キャンプ助成金(国内TOPチーム)	1,800,000	300,000×6団体
3. 予備費	55,371	
合計	2,115,371	

収入額	2,115,371
支出額	2,115,371
差 引	0

鴨川市スポーツを通じた地域振興推進委員会設置要綱を次のように定める。

平成 30 年 7 月 6 日

鴨川市長 亀田 郁夫

鴨川市告示第 115 号

鴨川市スポーツを通じた地域振興推進委員会設置要綱

(設置)

第 1 条 総合運動施設を有する本市の特性を生かし、スポーツを通じて産業の活性化、交流の促進その他の地域振興を推進するため、鴨川市スポーツを通じた地域振興推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) スポーツを通じた地域振興を推進するため必要な施策の企画立案に関すること。
- (2) スポーツを通じた地域振興を推進するため必要な施策の実施に関すること。
- (3) その他市長が必要と認める事項

(組織)

第 3 条 委員会は、委員 19 人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 識見を有する者
- (2) スポーツ関係団体の代表者又はその推薦する者
- (3) 観光業若しくは商工業の関係団体の代表者又はその推薦する者
- (4) 医療機関の代表者又はその推薦する者
- (5) 金融機関の代表者又はその推薦する者
- (6) その他市長が必要と認める者

3 委員会に委員長 1 人及び副委員長 2 人を置き、委員の互選によりこれを定める。

4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ定めた順序によりその職務を代理する。

(任期)

第 4 条 委員の任期は、委嘱の日から平成 33 年 3 月 31 日までとする。

(会議)

第 5 条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

4 委員長は、必要に応じて関係者の会議への出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

(専門部会)

第 6 条 第 2 条各号に掲げる所掌事務について専門的に協議させるため、委員会に専門部会を置くことができる。

2 専門部会は、委員又は委員が所属する団体に所属する者のうちから市長が委嘱する者をもって組織する。

3 専門部会は、協議の結果を会議に報告するものとする。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、建設経済部スポーツ振興課において処理する。

(その他)

第8条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、公示の日から施行する。

(失効)

2 この告示は、平成33年3月31日限り、その効力を失う。

(経過措置)

3 委員の互選により委員長が定められていない場合の会議については、第5条第1項の規定にかかわらず、市長が招集するものとする。

スポーツを通じた地域振興推進委員会委員名簿

No.	団体名	役職	氏名
1	鴨川市体育協会	会長	花山藤太郎
2	鴨川市スポーツ推進委員連絡協議会	会長	山下洋介
3	オルカ鴨川FC	代表	亀田秀次
4	南房総サイクルツーリズム協会	会長	高橋松吉
5	一般社団法人 鴨川市観光協会	会長	鈴木健史
6	鴨川市商工会	会長	島田誠一
7	鴨川観光プラットフォーム株式会社	事業推進統括	刈込信道
8	鴨川サーフィンクラブ	会長	川井幹雄
9	学校法人 城西国際大学観光学部	教授	渡辺淳一
10	学校法人 国際武道大学	教授	清水宣雄
11	学校法人鉄蕉館 亀田医療大学	事務局長	江羅 茂
12	一般社団法人 鴨川青年会議所	理事長	菅原明善
13	鴨川ライオンズクラブ	会長	栗本 昭
14	鴨川ロータリークラブ	会長	小高由加里
15	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	スポーツ医学科部長	大内 洋
16	公募市民		森谷宝子
17	公募市民		佐藤翔太
18	公募市民		里見美佳

専門部会名簿

1	一般社団法人 鴨川市観光協会	会長	鈴木健史
2	国際武道大学	教授	清水宣雄
3	鴨川観光プラットフォーム株式会社	事業推進統括	刈込信道
4	オルカ鴨川FC	GM	北本綾子
5	鴨川サーフィンクラブ	プロサーファー	小川直久
6	南房総サイクルツーリズム協会	事務局長	瀬戸川賢二

東京オリンピック・パラリンピック鴨川市対策推進本部規約

(設置)

第1条 鴨川市は、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会を全市を挙げて支援し、生涯スポーツの発展や観光振興、地域経済等の活性化及びユニバーサルなまちづくりの推進並びに市民生活の向上につなげ、スポーツ観光交流都市として発展することを目的として、東京オリンピック・パラリンピック鴨川市対策推進本部（以下「本部」という。）を置く。

(掌理事項)

第2条 本部は、次に掲げる事項について行う。

- (1) スポーツ文化の発展、障がい者スポーツの振興について検討する。
- (2) 東京オリンピック・パラリンピック関係のキャンプ招致、観光客誘致の実施及びそれに係る産業振興に関することを検討する。
- (3) 市内関係機関との連絡、調整に関すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、大会に関連する施策の推進に関すること。

(本部員)

第3条 本部は、別紙に掲げる団体から選出された者及び有識者（以下「本部員」という。）で組織する。

(役員)

第4条 本部に次の役員を置く。

- (1) 本部長 1名
 - (2) 副本部長 3名
 - (3) 監事 2名
- 2 本部長は、市長をもって充て、本部を代表し、会務を総理する。
- 3 副本部長は、本部員の互選によりこれを定め、本部長を補佐し、本部長に事故あるとき又は本部長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 4 監事は、本部員の互選によりこれを定め、本部の会計を監査する。

(顧問)

第5条 実行委員会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、本部長が委嘱する。

(アンバサダー)

第6条 実行委員会にアンバサダーを置くことができる。

- 2 アンバサダーは、本部長が任命する。
- 3 アンバサダーは、本部長の命により本部の取組み等を広くPRする。

(会議)

第7条 本部の会議（以下「会議」という。）は、本部長が招集し、議長となる。

- 2 本部長は、必要に応じて関係者の会議への出席を求め、意見又は説明を聴くことが

できる。

(専門委員会)

第8条 第1条の目的を達成するために、本部に専門委員会を置き、第2条の掌理事項を委任することができる。

2 専門委員会は、本部長が指名した本部員及び専門的見識を有する者をもって構成する。

3 専門委員会は、本部から委任された事項について検討し、又は実施するものとする。

4 専門委員会は、前項の結果を本部に報告しなければならない。

(庶務)

第9条 本部の庶務は、建設経済部スポーツ振興課において処理する。

(その他)

第10条 この規約に定めるもののほか、本部の運営に関し必要な事項は本部長が会議に諮って別に定める。

附 則

この規約は、平成26年7月28日から施行する。

この規約は、平成28年2月26日から施行する。

この規約は、平成30年4月1日から施行する。

東京オリンピック・パラリンピック鴨川市対策推進本部員名簿

	職 名	氏 名	備 考
1	鴨川市長	亀田郁夫	本部長
2	鴨川市副市長	小柴祥司	副本部長
3	鴨川市教育委員会教育長	月岡正美	
4	鴨川市議会議長	庄司朋代	
5	安房農業協同組合 常務理事	飯塚和夫	
6	一般社団法人鴨川市観光協会 会長	鈴木健史	副本部長
7	一般社団法人鴨川青年会議所 理事長	菅原明善	監事
8	医療法人鉄蕉会亀田総合病院 スポーツ医学科部長	大内 洋	
9	鴨川温泉旅館業協同組合 代表理事	吉村敦広	
10	鴨川市漁業協同組合 組合長	松本ぬい子	
11	鴨川市商工会 会長	島田誠一	
12	鴨川市スポーツ推進委員連絡協議会 会長	山下洋介	監事
13	鴨川市体育協会 会長	花山藤太郎	副本部長
14	鴨川ライオンズクラブ 会長	栗本 昭	
15	鴨川ロータリークラブ 会長	小高由加里	
16	学校法人城西国際大学観光学部 教授	渡辺淳一	
17	学校法人鉄蕉館亀田医療大学 事務局長	江羅 茂	
18	学校法人文理開成学園文理開成高等学校 理事長	鈴木 淳	
19	鴨川市立国保病院 院長	林 宗寛	
20	小湊旅館業協同組合 理事長	稲葉 靖	
21	社会福祉法人鴨川市社会福祉協議会 会長	石井一巳	
22	千葉県立長狭高等学校 校長	石井一司	
23	キャンプ誘致アンバサダー	江川嘉孝	
24	キャンプ誘致アンバサダー	高橋松吉	

事務局 スポーツ振興課